

平成27年度

事業報告書

公益財団法人かながわ国際交流財団

# 1 多文化共生の地域社会かながわづくり（定款第4条第1号）

## (1) 生活情報の提供と安全サポート

### ① 生活情報提供・流通促進事業

ア 多言語情報メールサービス「INFO KANAGAWA」の運営

配 信 69回

対 象 外国人住民、NGO/NPO関係者、行政関係者等

内 容 行政からのお知らせ（保健、福祉、教育、防災等）、その他生活に必要な情報、イベント情報等

言 語 やさしい日本語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、英語

登録者数 ①（直接配信分）2,560名

内訳：やさしい日本語690名、中国語216名、タガログ語79名、ポルトガル語369名、スペイン語573名、英語633名

②（外部委託配信分）約2,039名（推定値：中国語）

イ「INFO KANAGAWA」広報動画の作成

内 容 ①「かながわ外国人あるあるトーク 知り合いがない篇」  
(2分18秒)

②「かながわ外国人あるあるトーク 地震はこわい篇」  
(1分56秒)

③ お申し込み方法 (1分30秒)

言 語 日本語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、英語

ウ「INFO KANAGAWA」チラシ及びポスターのリニューアル

部 数 (チラシ) 15,000部 (ポスター) 1,000部

仕 様 (チラシ) A4版、フルカラー/両面  
(ポスター) A2版、フルカラー/片面

配 布 先 行政機関、国際交流協会、外国人コミュニティ等

エ 多言語情報の普及

(ア) 「多言語医療問診票」の提供

対 象 外国人住民、医療関係者、NGO/NPO関係者等

言 語 中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語、タイ語、インドネシア語、カンボジア語、ネパール語、ラオス語、ドイツ語、ロシア語、フランス語、ペルシャ語、アラビア語、クロアチア語（日本語は各言語に併記）

科 目 数 11科目

(内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科、精神科)

更 新 ポルトガル語全科目、タガログ語「内科」「小児科」

リンク・転載掲載等件数 45件

月別平均アクセス数 12,547件

- (イ) 外国人コミュニティや国際交流協会等のイベントでの多言語資料の配布  
「カンボジアフェスティバル」、「いちよう団地まつり」、「あやせ国際交流フェスティバル」等

オ 日本語教室、学習補習教室、母語教室の情報提供

〈調査件数〉

情報内容の確認依頼	140件
新規掲載件数	1件
削除件数	3件

〈掲載件数〉

日本語教室	72件
学習補習教室	16件
母語教室	15件

※次の自治体については、市の国際交流団体がホームページで市内の教室案内を行っているため、当財団は掲載せず、各ホームページにリンクを貼っています。

- ・横浜市（日本語教室及び学習補習教室 112件、母語教室6件）
- ・川崎市（日本語教室20件、学習補習教室4件、母語教室3件）
- ・相模原市（日本語教室14件、学習補習教室1件）
- ・横須賀市（日本語教室11件、学習補習教室1件）

② 災害時情報提供事業

ア 「神奈川県災害多言語支援センター」の設置・運営訓練の実施

日 程	平成27年11月18日（水）
会 場	財団本部（横浜市神奈川区）
参加者数	17名 神奈川県国際課職員、NPO法人多言語社会リソースかながわ事務局職員及びコーディネーター、当財団職員
内 容	情報発信訓練、相談対応訓練、組織間・グループ間連携訓練等

イ 神奈川県内災害多言語支援センター連絡会の開催

日 程	平成27年7月22日（水）
会 場	神奈川韓国会館ホール（横浜市神奈川区）
参加者数	8機関16名 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、（公財）横浜市国際交流協会、（公財）川崎市国際交流協会、さがみはら国際交流ラウンジ、当財団
講 師	河西英彦（NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク副理事長）
内 容	・各災害多言語支援センターに関する情報共有 ・災害ボランティアネットワークの活動についての講義等

ウ 関東地域国際化協会連絡協議会（作業部会）への参加  
 日 程 平成27年12月3日（木）  
 会 場 前橋市民文化会館第5会議室（群馬県前橋市）

(2) 外国につながる子どもの支援

① 外国人住民子育て支援事業

ア 多文化子育てサポート

モデル事業として、乳児家庭全戸訪問や保育園などに通訳を派遣し、支援者と外国人保護者とのコミュニケーション支援し、子育てについての情報提供や相談対応を行った。

対 象 外国人保護者及び外国人保護者に関わる支援者（保健師・保育士等）

連携先・対応言語・派遣件数

- ・平塚市保健センター 21件  
 スペイン語15件 / カンボジア語2件 / ラオス語2件 / ベトナム語1件 / ベンガル語1件
  - ・横内保育園（平塚市） 48件（スペイン語）
  - ・むくどり第2保育園（相模原市緑区） 3件（カンボジア語）
- 総計 72件

イ 支援者向け研修の実施

外国につながる子ども・保護者に関わる支援者を対象に、研修を実施した。

日 程	連 携 先	対 象 ・ 人 数	内 容
平成27年5月15日（金）、 18日（月）、19日（火）、 22日（金）	県立総合教育 センター	小・中・高校 及び特別支援 校教員889名	外国につながる児童生徒の現状と課題、関わり方についての講義
平成27年9月2日（水）	県立総合療育 相談センター	児童養護施設 職員等21名	講義、演習、体験談等を通して外国につながる子どもへの対応について学ぶ
平成28年1月25日（月）	県中央児童 相談所	児童福祉司等 24名	講義、演習、ケースワーク等を通して外国につながる子ども・家族について知る

ウ コミュニケーションツールの作成・普及

保健師や医療通訳、外国人保護者に対するヒアリングを参考に、母子保健分野で活用できる資料2種類を作成し、普及を行った。

タイトル	部 数	仕 様	配 布 先
外国人ママが日本で安心して出産するために	2,000部	A5版、6ページ	県内病院・診療所（分娩実施機関）、国際交流機関等
「新生児訪問及び赤ちゃん訪問」コミュニケーションツール	（ウェブによる普及）	A4版、9ページ 中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語（全て日本語併記）	県内市町村保健所等

## エ 外国人住民子育て支援に関する実態の把握

母子保健、保育、子育て支援の分野における課題と現状を把握するため、県内全市町村（横浜市・川崎市は区も含む）に対するアンケート、先進的な取り組みを行う機関および外国人保護者に対するヒアリングを行い、報告書にまとめた。

### (ア) アンケート調査

日 程 平成27年7月～8月

対 象 県内全市町村（横浜市・川崎市は区も含む）の母子保健・保育・子育て支援担当部署

回 答 数 49件（回収率84.5%）

内 容 外国人住民の行政サービスの利用状況、通訳・多言語資料の活用状況、課題と工夫等

### (イ) ヒアリング調査

日 程 平成27年12月～平成28年1月

対 象 先進事例を有する保健福祉センター、保育所、子育て支援センター、日本で出産・子育てを行う外国人の母親

実施件数 全11件

内 容 ・外国人住民の子育て支援に当たっての課題や取り組みの工夫  
・日本で出産・子育てを行う上での問題や対処方法、必要な支援等

### (ウ) 報告書の発行

タイトル 「外国人住民への子育て支援に関わる調査報告書」

（1,000部、計100ページ）

内 容 アンケート結果の集計結果、ヒアリング結果、分析とまとめ等

配 布 先 県内市町村の国際施策、母子保健、保育、子育て支援関連部署、関連団体等

## ② 多文化共生教育推進事業

### ア 外国につながる子ども支援のための関係機関連絡会の開催

#### (ア) 東部地区

日 程 平成27年11月26日（木）

参加機関 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、横須賀市教育委員会、平塚市教育委員会、藤沢市教育委員会、相模原市教育委員会、中井町教育委員会、NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ（ME-net）、（公社）青年海外協力協会

会 場 県立地球市民かながわプラザA研修室（横浜市栄区）

内 容 外国につながる子どもの教育支援に関する情報共有、先進事例の紹介等

#### (イ) 西部地区

日 程 平成27年10月13日（火）

参加機関 神奈川県教育委員会、大和市教育委員会、海老名市教育委員会、秦野市教育委員会、厚木市教育委員会、伊勢原市教育委員会、

綾瀬市教育委員会、愛川町教育委員会、茅ヶ崎市教育委員会、  
NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ、(公社)青年海外協力協会

会 場 プロミティあつぎAB会議室(厚木市)  
内 容 外国につながる子どもの教育支援に関する情報共有、先進事例の紹介等

イ 外国につながる若者支援のための進学・進路サポート

(ア) 外国につながる子どもの高校進学状況の把握

国際教室設置校のある市・町教育委員会の協力を得て、「国際教室在籍生徒の進路に関わるアンケート調査」を実施し、結果を公表した。

ウ 外国につながる子ども支援のための意識啓発

(ア) ガイドブックの作成

外国人保護者が日本の小学校生活や諸制度の概要について理解するためのパンフレットを発行した。

タイトル 「外国人保護者・児童のための小学校で楽しく、安全に学ぶための10のポイント」

仕 様 A5版、8ページ

部 数 5,000部×6言語(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語) ※すべて日本語併記

配 布 先 県・市教育委員会、小学校、保育園、子育て支援センター、関係団体等

(イ) 多文化共生教育のリソース紹介

名 称 第65次神奈川県教育研究集会「かながわ教育フェスティバル2015」

日 程 平成27年10月31日(土)

会 場 神奈川県立横須賀総合高等学校(横須賀市)

③ 外国につながる保育士養成事業

神奈川県福祉事業協会からの助成を受け、横浜YMCAとの協働により、外国につながる保育士養成を支援する「神遊協・神福協奨学金」を設立し、奨学生の募集及び選考を行った。

出願期間 平成27年10月1日(木)～22日(木)

試 験 日 平成27年10月24日(土)

奨学生採択者 1名

対象期間 平成28年4月から平成31年3月まで

一人当支給額 180万円(50,000円×12か月×3年間)

※返還義務なしの給付型。

④ 多文化ソーシャルワーク講座企画運営事業(神奈川県からの受託事業)

外国籍県民が抱える生活課題の解決に向けて、文化的背景の違いをふまえなが

らケースワークやコミュニティワーク等を行う人材の育成を目的とした講座を実施した。

#### ア カリキュラム検討会の実施

日 程 平成27年6月3日(水)、11月7日(土)、12月19日(土)、平成28年1月23日(土)

会 場 財団本部(横浜市神奈川区)

検討委員 鶴田光子(聖テレジア病院スーパーバイザー)  
大川昭博(移住労働者と連帯する全国ネットワーク運営委員)  
岡田澄恵(昭和女子大学非常勤講師)  
門美由紀(東洋大学助教)

内 容 多文化ソーシャルワーク講座の具体的な実施内容(時期、回数、日時、会場、対象、講座内容等)、認定社会福祉士認証講座について

#### イ 多文化ソーシャルワーク講座の開催

日 程 平成27年11月7日～平成28年1月23日(土曜日・全3回)

会 場 (第1回:公開講座)神奈川県社会福祉会館研修室(横浜市神奈川区)  
(第2・3回:連続講座)神奈川韓国会館ホール(横浜市神奈川区)

参加者数 (第1回)61名、(第2回)19名、(第3回)21名

内容・講師

(第1回)「多文化共生時代の子育て支援」(平成27年11月7日(土))

- [1] 多文化ソーシャルワークの必要性
- [2] 多文化子育て家庭の現状
- [3] 実践報告
- [4] パネルディスカッション

[講師]

大川昭博(NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク理事)  
南野奈津子(昭和女子大学専任講師)  
李原翔(あーすぷらざ外国人教育相談中国語サポーター)  
松井リリアン(YMCAいずみ保育園保育士)  
横井葉子(神奈川県教育委員会県中央教育事務所スクールソーシャルワーカー)

(第2回)「異なる文化・価値観をもつ人に対する支援」

(平成27年12月19日(土))

- [1] 外国人住民の支援活動に携わるにあたって
- [2] 異なる文化・価値観理解のための面接練習
- [3] やさしい日本語を活用した面接練習

[講師]

金朋央(NPO法人コリアNGOセンター東京事務局長)  
岡田澄恵(昭和女子大学非常勤講師)  
鶴田光子(聖テレジア病院スーパーバイザー)  
門美由紀(東洋大学助教)

ローズマリー・サルヴィオ、デイシー・ガビノ、秋本パトリシア、赤嶺セシリア和枝 (外国人ゲスト)

(第3回)「外国人がより安心して子育てしやすい環境づくり」

(平成28年1月23日(土))

- [1] 外国人ママの現状と今後の支援に必要なこと
- [2] つながりひろげる家族支援
- [3] 地域における子育て支援の実践報告
- [4] アクションプランづくり

[講師]

門美由紀 (東洋大学助教)

金子美津子 (NPO法人まんま理事長)

森恭子 (文教大学准教授)

林静、青柳ローズマリー

(瀬谷区地域子育て支援拠点「にこてらす」外国語スタッフ)

岡田澄恵 (昭和女子大学非常勤講師)

2 県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進 (定款第4条第2号)

(1) NGO/NPOとの連携・協働の推進

① 民際協力基金助成事業

ア かながわ民際協力基金事業

募集期間 平成27年5月1日(金)～5月31日(日)  
審査 平成27年7月31日(金)  
申請 3件  
助成決定 2件  
助成額計 3,000,000円

区分	助成事業名	団体名	実施地域	助成決定額
国内協力	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業	NPO法人 在日外国人教育生活 相談センター・信愛塾	横浜市南区	2,000,000円
国内協力	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業	多文化まちづくり工房	横浜市泉区	1,000,000円

イ 多文化共生の地域社会づくり応援事業

募集期間 平成27年5月1日(金)～5月31日(日)  
審査 平成27年7月31日(金)  
申請 5件  
助成決定 5件  
助成額計 999,500円

助成事業名	団体名	実施地域	助成決定額
「土曜寺子屋(ドテラ)学習支援	非営利組織 小さな森の学校	愛川町	200,000円



在日カンボジア人の日常生活の向上及び 明るい日本社会につなぐ事業	NPO法人 在日カンボジアコミュニティ	大和市	200,000円
外国につながりを持つ中学世代の保護者への情報提供 と学習支援者の育成・連携づくりプロジェクト	多文化活動連絡協議会	川崎市	200,000円
スペイン語の部屋	NPO法人 日本ペルー共生協会	大和市	200,000円
南米人コミュニティに対する 表現アートワーク	SONRISA (ソンリサ)	藤沢市	199,500円

## ウ 緊急支援事業

### (ア) ネパール大地震

審査 平成27年10月26日(月)

申請 3件

助成決定 1件

助成額計 2,200,000円

助成事業名	団体名	実施地域	助成決定額
地震の被害を受けた学校のための ラーニングセンターの建設	(特活)地球の木	ネパールカブレ郡 マンダルトール村	2,200,000円

### (イ) インドネシア中央カリマンタン大規模火災

審査 平成27年12月2日(水)

申請 1件

助成決定 0件

## エ かながわ復興支援ネットワークへの参加

海外での大規模災害発生時に、県内の国際交流協会、国際協力NGO等が連携して募金活動を行い、県内NGOを通して被災地の復興支援を行う「かながわ復興支援ネットワーク」に参加し、次の活動を行った。

### (ア) 運営委員会の開催

運営委員 (公財)横浜市国際交流協会、(特活)草の根援助運動、(特活)地球の木、かながわ開発教育センター、(特活)横浜NGO連絡会(YNN)、当財団

日程 平成27年5月7日(木)、5月21日(木)、7月14日(火)、  
12月14日(木)、平成28年2月17日(水)、3月1日(火)

議題

- ・ネパール大地震への募金活動
- ・募金の寄託先
- ・災害支援フォーラムの企画
- ・ネットワークの今後の活動

### (イ) ネパール大地震被災地復興支援募金への参加

日程 平成27年5月16日(土)～8月2日(水)

募金額 総額 1,500,794円

(うち、財団を経由した募金額 446,570円)

寄託先 (特活)地球の木、ネクサス・グリーンアライブ、(特活)ネパー

ル教育支援の会、(特活)ベルダレルネーヨ／ネパリ・バザール、(特活)ラブグリーンジャパン

配分額 1団体あたり 270,000円

オ 「災害支援フォーラム in かながわ」の開催

日 程 平成27年11月22日(日)  
会 場 かながわ県民センターホール(横浜市神奈川区)  
主 催 災害支援フォーラム in かながわ実行委員会(かながわ復興支援ネットワーク、ネパール日本協力会、NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク、当財団)  
参加者数 130名  
内 容

- ・ネパール現地報告「大地震から6か月、ネパールは今」
- ・パネルディスカッション「ネパール大地震への復旧・復興支援活動」
- ・復興支援団体のブース出展など

② 外国人コミュニティ連携強化事業

ア 外国人コミュニティの意見交換会の開催

日 程 平成27年10月25日(日)  
会 場 神奈川韓国会館ホール(横浜市神奈川区)  
参加者数 18名  
テ ー マ 外国人コミュニティへの情報発信～役立つ情報を届けるためには～

イ 「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」の運営

U R L <http://www.kifjp.org/kcns/>  
ページビュー数 47,717件  
情報掲載件数 46件  
情報収集先 外国人コミュニティ、NGO/NPO、ボランティアグループなど支援団体、県内自治体、国際交流協会等

ウ 外国人コミュニティ等の事業実施協力

(ア) 外国人コミュニティ全国会議

日 程 平成27年12月12日(土)  
会 場 東京外国語大学府中キャンパス(東京都府中市)  
対象団体 在日フィリピン人女性団体「カワヤンP.W.C」  
主 催 (一財)自治体国際化協会  
内 容 各コミュニティによる活動内容発表やパネルディスカッション

(イ) 介護サービスセミナー

日 程 平成28年2月27日(土)  
会 場 秦野市立南公民館(秦野市)  
対象団体・主催 日本教育ネットワーク(在日ラテンアメリカ人コミュニティの団体)  
内 容 介護の仕事の説明、外国人介護スタッフの体験談

エ あーすフェスタかながわ2015及び2016の実施への参加  
実行委員会及び企画委員会に参加し、企画等を行った。

## (2) 県民への情報発信

### ① 県民への情報発信事業

#### ア 情報提供事業

財団ホームページを運営し、多方面に情報提供を行った。

アクセス数 356,294件

言語サービス 自動ルビ振り機能及び自動翻訳機能

対応言語 5言語 (英語、中国語 (簡体字・繁体字)、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)

※一部のコンテンツについては、中国語 (簡体字)、韓国・朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語、  
スペイン語、ベトナム語、英語、タイ語、カンボジア語、ラオス語の10言語に翻訳

U R L <http://www.kifjp.org>

#### イ 年次報告書の発行

年次報告書を発行し、多方面に財団の取り組みの概要に関する情報提供を行った。

部 数 5,000部

仕 様 A4版、24ページ

配 布 先 財団会員、寄付者、事業関係者等

#### ウ 多文化理解促進のための講師派遣

神奈川県内の多文化共生の地域づくりの状況などの理解を促進し、啓発を行うため、財団職員が研修会等の講師を務めた。

回 数 計3回

日 程	依 頼 者	会 場	参加者数	講 話 内 容
平成27年 7月29日 (水)	平塚市教育委員会	平塚市教育会館 (平塚市)	45名	外国につながる子ども の未来を支えるために
平成27年 10月28日 (水)	明治大学大学院 国際日本学研究科	財団本部 (横浜市神奈川区)	2名	多言語情報の提供
平成28年 3月24日 (木)	日本国際協力 センター	日本国際協力 センター (東京都新宿区)	25名	当財団の活動と多言語 情報の発信

### 3 国際性豊かな人材の育成（定款第4条第3号）

#### (1) 国際人材の育成

##### ① 国連大学グローバルセミナー開催事業

国連大学と共催し、首都圏を中心とする大学の協力を得て3泊4日にわたり開催した。学部3、4年生と大学院生を主な対象とし、日・英2か国語による国内外の研究者・専門家等による講義をはじめ、神奈川地域の具体的取り組みを題材にした「かながわセッション」及び8つのグループに分かれての討議等の内容により、グローバルな視点とローカルな視点を組み合わせて実施した。

日 程	平成27年8月31日（月）～9月3日（木）（3泊4日）
会 場	湘南国際村センター（葉山町）
講 師	木村利人（早稲田大学名誉教授）他13名
対 象	大学生、大学院生、留学生
テ ー マ	国連とグローバルイシュー～ポスト2015アジェンダ～生命・倫理・尊厳の保障
参加者数	89名（うち、留学生10か国26名）
共 催	国際連合大学
協 力	（公財）国連大学協力会
協力大学	青山学院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、国際大学、中央大学、津田塾大学、東海大学、東京大学、横浜国立大学、早稲田大学

##### ② インカレ国際セミナー開催事業

「アジアの中の日本」を統一テーマとして、首都圏の大学、研究者等との協力を得て、2泊3日のセミナーを開催した。基調講演及び事前学習を含む6つの分科会（2つは英語を使用）での演習を中心とした内容であるが、（独行）科学技術振興機構の助成（さくらサイエンスプラン）を得て、台湾・ソウル・上海からの学生を招聘するとともに、国内からの留学生12名の参加も得て、多様な視点から議論を深める内容で実施した。

日 程	平成27年11月27日（金）～11月29日（日）（2泊3日） （さくらサイエンスプラン企画（招聘留学生）は12月2日（水）まで）
会 場	湘南国際村センター（葉山町）
講 師	池内了（総合研究大学院大学名誉教授）他
対 象	大学生（主に学部1、2年生）
テ ー マ	アジアの中の日本～戦後70年の節目に立って～
参加者数	110名（うち、国内留学生7か国12名、招聘留学生2か国1地域12名）
協 力	インカレ国際セミナー組織委員会
協力大学	青山学院大学、神奈川大学、中央大学、東海大学、東京女子大学、一橋大学、法政大学、横浜国立大学、横浜市立大学、早稲田大学

### ③ 高校国際教育支援事業

高校生が地域と世界へ興味・関心を持つよう、財団が培ってきた国際教育のノウハウおよび講師のネットワークを活用し、県内高校に講師を派遣し国際教育を支援した。

日 程	平成27年4月～平成28年3月
会 場	県内高校
対 象	県内高校生
内 容	講演、ワークショップなど
実施校数	20校(4,866名)

(県立橋本高校、県立弥栄高校、県立横須賀明光高校、県立伊志田高校、県立白山高校、県立百合丘高校、県立横浜翠嵐高校、県立保土ヶ谷高校、県立横浜清陵総合高校、私立アレセア湘南高校、私立慶應義塾高校、県立柏陽高校、県立横浜平沼高校、市立横浜総合高校、県立藤沢総合高校、県立神奈川総合高校、県立川崎高校、県立上鶴間高校、県立追浜高校、私立横浜女学院高校(実施順))

### ④ 青少年国際セミナー開催事業

「世界の入口に立とう！」を共通テーマに、世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション力と多様なものの見方を育むための国際セミナーを実施した。

日 程	平成27年12月20日(日)
会 場	(独行)国際協力機構横浜国際センター(横浜市中区)
講 師	星久美子((特活)開発教育協会(DEAR)) 土屋陽介(立教大学兼任講師/開智中学・高等学校「哲学対話」担当講師)
対 象	県内の高校生及び、18歳以下の社会人
テ ー マ	世界の入口に立とう - とびだせ!高校生2015
参加者数	69名
共 催	(独行)国際協力機構横浜国際センター
後 援	神奈川県教育委員会、(一財)神奈川県私立中学・高等学校協会、横浜市教育委員会

### ⑤ インターナショナル・カフェ事業

各回4名前後の留学生が出身国の文化や習慣を日本の高校生・大学生に紹介し、英語や日本語でコミュニケーションをする交流会を開催した。

日 程	平成27年6月7日、7月5日、8月2日、9月6日、11月8日、12月6日、平成28年1月24日、2月14日、3月13日(すべて日曜日/9回実施)
会 場	KANAFAN STATION(横浜市神奈川区)
講 師	県内留学生等 46名(25か国)
対 象	県内高校生、大学生、専門学校生
内 容	留学生の出身国紹介、交流・ディスカッション

参加者数 173名

## ⑥ 留学応援セミナー事業

県内の高校生・大学生世代が将来の選択肢として留学を考えるきっかけとなるセミナーを実施した。留学経験のある講師による講話や体験談の紹介、また留学準備から留学後に至るまでの留学に関する具体的な情報提供を行った。

日 程	平成27年10月3日(土)
会 場	KANAFAN STATION (横浜市神奈川区)
講 師	辰野まどか ((一社) グローバル教育推進プロジェクト専務理事兼事務局長) 加藤ゆかり ((株) 留学ジャーナル代表取締役副社長) 留学を経験した高校生・大学生・社会人計3名
対 象	県内高校生、大学生、専門学校生
内 容	講師による基調講演、留学経験者による体験談紹介、奨学金・各国留学情報等提供など
参加者数	14名

## (2) 留学生支援

### ① グローバル人材支援事業

外国人留学生や日本人留学希望者等への支援事業等を通じ、グローバル人材の育成を図ることで、地域の国際化、多文化共生の地域社会づくりを行うことを目的として神奈川県が実施する「グローバル人材支援事業」のうち、下記の事業を実施した。

#### ア 留学生支援拠点「かながわ国際ファンクラブKANAFAN STATION」の運営 ((一社) NAPとの協働事業)

##### (ア) KANAFAN STATIONの運営

留学生等外国人及び支援団体等がイベント・交流等に自由に利用できるスペースを運営した。

日 程	平成27年4月～平成28年3月
利用者数	6,931件

##### (イ) 留学生・外国人向けの情報提供・相談

日 程	毎週火・金・日曜日
内 容	留学生等の就職相談、日本語ボランティア等支援者向け相談、日本語学習中の外国人と日本人ボランティアのフリートーク等
実 績	・留学生等の就職相談(130名) 37か国 ・日本語ボランティア等支援者向け相談(155名) 8回 ・日本語学習中の外国人と日本人ボランティアのフリートーク等(121名) 45回

##### (ウ) ステーション運営会議の開催

日 程	平成28年3月1日(火)
会 場	KANAFAN STATION (横浜市神奈川区)
テ ー マ	KANAFAN STATIONの活用、留学生受け入れに関

する課題や現場のニーズ等

参加者数 4機関（留学生を受け入れている県内の教育機関関係者）

イ ポータルサイト「かながわ国際ファンクラブ」の運営（山陽印刷（株）との協働事業）

(ア) ポータルサイト「かながわ国際ファンクラブ」

日 程 平成27年4月～平成28年3月

内 容 かながわ国際ファンクラブ関連イベントの告知・報告や、サポート会員による情報提供等の掲載・更新追加等  
(更新回数 年間約90回)

実 績 サイトユーザー数：15,097 ページビュー数：61,305

(イ) Facebook ページ「かながわ国際ファンクラブ」

日 程 平成27年4月～平成28年3月

内 容 Facebook ページ開設・運営

実 績 ページへの「いいね!」数：813 投稿件数：132件

ウ かながわ国際ファンクラブ交流会事業（山陽印刷（株）との協働事業）

日 程 平成27年9月4日（金）、11月25日（水）、平成28年3月13日（日）（3回実施）

会 場 かながわ県民センターホール（横浜市神奈川区）、ワークピア横浜（横浜市中区）

内 容 かながわ国際ファンクラブ会員・サポート会員交流会

参加者数 224名

エ 「働きたい」支援事業（（一社）NAPとの協働事業）

(ア) マッチング機会の提供事業

日 程 平成27年6月5日（金）、7月14日（火）（2回実施）

会 場 かながわ県民センターホール（横浜市神奈川区）

内 容 留学生を対象とした県内企業の採用説明会

参加者数 参加企業数 計29社 参加留学生数 計239名

(イ) 就職支援セミナー事業

日 程 平成27年6月1日（月）、6月5日（金）、7月14日（火）、9月4日（金）（4回実施）

会 場 ・外語ビジネス専門学校（川崎市川崎区）

・KANAFAN STATION（横浜市神奈川区）

内 容 留学生の就職活動に必要な情報に関するセミナー

参加者数 計309名

(ウ) 企業見学会事業

日 程 平成27年6月11日（木）、11月30日（月）（2回実施）

訪問企業 ・日産自動車（株）追浜工場

・三井金属アクト（株）本牧埠頭工場

内 容 会社概要説明、生産ライン、評価設備見学など

参加者数 計20名

オ 「住みたい」支援事業

日 程 平成27年7月26日(日)、9月4日(金)、9月27日(日)、  
10月25日(日)、平成28年1月31日(日)、平成28  
年2月27日(土)(6回実施)

会 場 KANAFAN STATION (横浜市神奈川区)

内 容 留学生等県内在住外国人を対象とした無料相談会

対応言語数 9言語

相談者数 26名

協 力 NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター

カ 「つながりたい」支援事業(サポート・ファミリー事業)

日 程 平成27年9月～平成28年2月

内 容 日本人家庭・留学生の募集・登録・マッチング、顔合わせ交流会、  
個別連絡による交流・サポートの促進

登録者数 留学生29名、交流家庭45件

マッチング数 20組(留学生20名、交流家庭18件)

※留学生2名と交流する家庭2件を含む

キ かながわ国際ファンクラブ魅力発信事業(山陽印刷(株)との協働事業)

日 程 平成27年8月～平成28年3月

放送回数 6回

内 容 神奈川の観光情報、KANAFAN STATION交流会、  
留学生による県立高校の外国籍生徒の生活等の紹介番組の制作  
・インターネットを通じた配信

ク 外国人を対象とした「やまきた町歩き」調査事業

外国人観光客の迎え入れるにあたって留学生などが山北町の森林セラピーや温泉などを体験し、観光客増加につなげることを目的とした調査を実施した。

日 程 (1回目)平成27年11月23日(月)～24日(火)  
(2回目)平成28年1月16日(土)～17(日)

調 査 員 (1回目)韓国、ブラジル、フィリピン、中国、オーストラリア  
(2回目)台湾(米国在住)、韓国、カザフスタン、ベトナム、  
オーストラリア

対象地域 神奈川県山北町

内 容 留学生等外国人による観光地の訪問調査、地域住民との意見交  
換と報告書作成

ケ 県内留学生の増加に向けた施策にかかる調査事業

神奈川県が県内の教育機関に所属する留学生を増加させるために講じるべき施策や、必要なデータの収集及び留学生受け入れの現状や課題を把握する目的で大学・大学院、専修学校、日本語学校を対象にヒアリング調査を実施した。



日 程	平成28年2月～3月
対 象	県内の大学・大学院、専修学校、日本語学校など全10校
内 容	留学生の現状、増加への課題、住居、多言語支援、宗教・文化的配慮の有無、広報活動など実施

#### 4 学術・文化交流の促進（定款第4条第4号）

##### (1) 学術・文化交流の促進

###### ① 21世紀かながわ円卓会議開催事業

グローバル化が進展しつつある現代において、様々な社会的課題の増大が懸念されている地域社会の活性化に向けて、自治体の市民参画制度も参照しつつ、市民の主体性を活かした地域社会づくりのあり方をテーマに、自治体の首長や職員及びNPOスタッフ・外国籍県民等で幅広く討議を行った。

日 程	平成27年11月14日（土）～15日（日）（2日間）
会 場	湘南国際村センター（葉山町）
モデレーター	神野直彦（東京大学名誉教授／地方財政審議会会長）
講 師	清原慶子（東京都三鷹市長）、速水雄一（島根県雲南市長）、加藤憲一（小田原市長）ほか
テ ー マ	市民がともに学び、分かち合い、つくるまち～参加型の民主主義へ～
対 象	自治体職員、NPOスタッフ、研究者、県民
参加者数	80名（2日間延べ）
共 催	神奈川県、小規模多機能自治推進ネットワーク会議
後 援	神奈川県市長会、神奈川県町村会

###### ② 21世紀ミュージアム・サミット開催事業

これまでの6回にわたるサミットの議論を踏まえ、「ミュージアム」を歴史軸（縦軸）と空間軸（横軸）の視点から、国内外の幅広い文化・芸術関係者で討論するため「まちとミュージアムが織り成す文化～過去から未来へ～」をテーマに、第7回21世紀ミュージアム・サミットを開催した。今回は2020年に開催されるオリンピック文化プログラムの展開との連携も視野に入れ、多様な価値観や文化が共生し、心豊かな地域社会を実現していく上でのまちとミュージアムとの関係などについて、会場全体で議論した。

日 程	平成28年2月27日（土）～28日（日）
会 場	湘南国際村センター（葉山町）
講 師	ラース・ニッティヴ（前香港M+館長）、李龍雨（上海美術館館長、国際ビエンナーレ協会理事長）、青木保（国立新美術館館長、元文化庁長官）、高階秀爾（大原美術館館長）、水沢勉（神奈川県立近代美術館館長）、蓑豊（兵庫県立美術館館長）、建畠哲（埼玉県立美術館館長、多摩美術大学学長）ほか
テ ー マ	まちとミュージアムが織りなす文化～過去から未来へ～
対 象	美術館・博物館関係者、社会教育・文化施設関係者、国・自治

	体関係者・NGO/NPO関係者 等
参加者数	121名
共 催	神奈川県、日本経済新聞社
後 援	文化庁、全国美術館会議、(公財)日本博物館協会、(公社)企業メセナ協議会、(独行)国際交流基金、神奈川県教育委員会、神奈川県博物館協会
助 成	(一社)東京倶楽部

### ③ 調査研究事業

県内市町村の地域課題に対応する、新たな仕組みづくりのため、専門家の関わりを得ながら、県内市町村へアンケート・ヒアリング調査を行った。また、社会教育・文化施設間連携事業の中期的な展望を得るために必要な海外の先進的なミュージアムの事例調査を行った。

#### ア 『自治体における協議会型住民自治組織の現状』

内 容	県内全市町村を対象に「協議会型」及び「地縁型」住民自治組織への参画状況についてアンケート調査を行い、県内市町村の取組みの現状と課題を分析してその結果をとりまとめた。
協 力 者	名和田是彦（法政大学法学部教授）、(公財)日本都市協力センター

#### イ 『神奈川県及び県内市町村における外国籍県民の市民参画制度の現状と課題』

内 容	県内の先進的な外国籍市民会議を設置している県及び6つの市町を対象に、自治体職員等へのヒアリング調査を通じて、その現状と課題について調査を行った。
調査委託者	岡田健太郎

#### ウ 『英国ミュージアムにおける多文化共生のための取り組みとその課題』

内 容	先進事例を持つ英国のミュージアム（ロンドン博物館・ホワイトチャペルギャラリー）における周辺コミュニティを巻き込んだ多文化共生事業について調査を行った。
調査受託者	吉荒夕記（ロンドン・研究支援団体アートログ代表）

### ④ 湘南国際村生涯学習促進事業

湘南国際村内外の多様な研究機関等と連携・協力し、それらの研究成果を県民にわかりやすく学ぶ学習機会を設けた。また、湘南国際村協会が事務局を担う湘南国際村フェスティバルへ参加・出展することで、多文化共生の地域社会づくりに向けた理解を拡げる一助とした。

#### ア 湘南国際村アカデミア（共催：(公財)地球環境戦略研究機関）

日 程	平成27年11月7日（土）
会 場	(公財)地球環境戦略研究機関（葉山町）
講 師	橋本徹（横浜市国際局国際協力部長）、藤枝慎治（萬世リサ

イクルシステムズ（株）代表取締役会長）、小塚一久（（公財）地球環境戦略研究機関エリアリーダー）

対 象 県民  
テ ー マ 都市間連携を通じた持続可能な都市づくりと国際ビジネス展開の支援  
参加者数 31名

イ 湘南国際村アカデミア（カフェ・インテグラル）

日 程 平成28年3月13日（日）  
会 場 湘南国際村センター（葉山町）  
モデレーター 塚本直也（（公財）地球環境戦略研究機関事務局長）  
講 師 杉山みち子（神奈川県立保健福祉大学教授）、水島希（総合研究大学院大学助教）  
対 象 県民  
テ ー マ 豊かな人生のための医療？～自分らしく生きるためのヘルスケアとは～  
参加者数 33名  
協 力 神奈川県立保健福祉大学、総合研究大学院大学、（公財）地球環境戦略研究機関、湘南国際村情報発信委員会

ウ 湘南国際村フェスティバルへの参加協力

湘南国際村内に立地する研究・研修機関の活動を広く県民に紹介し、活用の推進を目的に21回目を迎える湘南国際村フェスティバルに参加し、多文化共生社会づくりを進め、国際性豊かな人材育成や学術文化交流の促進を図る財団の活動をアピールした。

日 程 平成27年5月3日（日・祝）～5月5日（火・祝）  
会 場 湘南国際村センター（葉山町）  
対 象 県民  
テ ー マ 子どもたちの絵画を通じてかながわから世界につながろう  
内 容 ・外国人学校の子どもたちの絵画展作品  
・第17回カナガワビエンナーレ国際児童画展入賞作品の展示及びギャラリートーク  
参加者数 1,599名  
協 力 外国人学校の子どもたちの絵画展実行委員会、県立地球市民かながわプラザ

⑤ 学術交流・成果発信事業

財団事業の成果を県内外に周知するため、事業成果を発信した。

- ・ライブ配信及びアーカイブ化  
21世紀かながわ円卓会議  
21世紀ミュージアム・サミット

湘南国際村生涯学習促進事業（カフェ・インテグラル）

- ・各事業における Facebook と Twitter による情報発信
- ・助成 湘南国際村情報発信強化委員会

## 附属明細書について

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。